

意見交換会実施報告書

令和 7 年 9 月 9 日

裾野市議会議長 様
広報広聴委員会委員長 様

報告者 木村 典由

1. 意見交換会の概要

開催日時	令和 7 年 8 月 25 日 18 時 00 分～20 時 00 分
開催場所	裾野市商工会館
代表者 (委員会名)	産業建設水道委員会
出席議員	木村典由 杉山茂規 賀茂博美 佐野利安 勝又豊 勝又利裕
参加市民数 (団体名)	9 人 (裾野市商工会)
実施内容	議会報告 産業建設水道委員会より、駅西再開発の進捗や裾野ブランド推進、道の駅整備計画など、今後の市の観光・商工政策に関わる主要施策を報告。加えて、地域人口減少対策や産業振興の現状課題について共有しました。
	意見交換 商工会からは、駅前商店街の衰退や区画整理の停滞、賑わいづくりの必要性、裾野ブランドの販路拡大、道の駅の整備方針など、多岐にわたる提案が寄せられました。市・議会・商工会が一体となり、課題解決策を模索する方針が示されました。

2. 市民の質問・意見等

質問と回答など	商工会からは、まず駅西再開発に関して、完成イメージが不明確で市民周知が不足しているとの指摘があり、最終青写真の公開や駅西ニュース等を活用した情報発信を求める声が出ました。また、駅前商店街の衰退が深刻であるとの課題認識が共有され、広域的な再開発計画を行政主導で進め、藤枝市や三島市の事例を参考にしたデベロッパー連携体制の必要性が示されました。さらに、裾野ブランド商品については冷凍・冷蔵品が多く販路が限定的で、企業と連携した新商品開発や販売体制強化を求める意見が多く挙がりました。道の駅に関しては、観光拠点としての位置付けに加え、商工会単独での運営は困難なため、市・企業・団体が協働するモデルの検討が提案されました。加えて、岩波駅から箱根方面への道路接続や広域観光連携、ウーブンシティ完成後の波及効果活用など、インフラ整備と産業振興を一体的に進める必要性が確認されました。今回の意見交換会では、現場の生の声を直接伺うことができ、今後の取り組みを考えるうえで非常に有意義な機会となりました。
---------	---

--	--